

市議会だより



発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2025年〈令和7年〉
12月1日 第80号

広報と一緒にとじて保存しましょう

令和7年

9月渋川市議会定例会

表紙の写真：色鮮やかな紅葉と河鹿橋

■本会議のあらまし	2ページ
■星名市長の施政方針説明	3ページ
■令和6年度決算の概要	4～5ページ
■決算特別委員会・常任委員会の審査	6～8ページ
■一般質問（13人の議員が市政を問う）	9～15ページ

令和7年 9月定例会

令和6年度一般会計決算不認定

あらまし

令和7年9月定例会は、9月24日から10月21日までの28日間の日程で開かれました。条例の一部改正4議案、令和7年度補正予算7議案、令和6年度決算10議案、人事案件2議案、その他古巻公民館建設工事請負契約の変更等5議案、請願3件と意見書提出に関する議員提出議案3件が各常任委員会、決算特別委員会に一部を除き付託され、慎重に審査・審議しました。令和6年度一般会計決算は不認定。ほかの議案は原案のとおり可決・同意・認定しました。請願はすべて採択され、国へ意見書を提出しました。

本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

令和6年度決算

一般会計決算は賛成者なしで不認定としました。本来、予算は議会の議決により成立しますが、令和6年度一般会計予算は成立に当たり議会は予算案を否決しており、否決された予算案を修正せずに前市長が成立させた専決処分も議会は不承認としています。議会が認めていない予算に対する決算であることが決算不認定の理由に挙げられました。

特別会計決算(7件)、そのほか水道事業会計剰余金の処分及び決算、下水道事業等会計決算については全員一致で可決・認定しました。(※詳細は4ページ)



一般会計決算の採決の様子
賛成者(起立)なしで不認定

古巻公民館建設工事(建築 主体工事)請負契約変更

旧古巻公民館の解体工事をする際に、壁部分とひさしの天井部分にアスベスト(石綿)が含まれていたことが判明し、処分費用を増額するものです。全員一致で

可決しました。

市道の認定・廃止

JR八木原駅周辺整備に伴い、駅周辺の道路位置を変更、新規認定するもので、全員一致で可決しました。

人権擁護委員候補の推薦

任期満了に伴い、前任の柴崎博之氏を引き続き任命しようとするものです。全員一致で同意しました。

令和7年度一般会計補正予算(第3号)を可決

全員一致で可決しました。主な内容は次のとおりです。
しづかわ電子地域通貨事業
令和6年度に発行した渋

Payポイントのうち未利用分となっているポイントの額が確定し、今後、未利用分の利用が見込まれることなどから、精算に必要な予算を増額するものです。

高齢者施設の非常用自家発電設備の整備費用を補助
国による交付金事業で、大規模災害停電により避難が困難な方の生命が脅かされることを防ぐために、非常用自家発電設備を整備する高齢者施設等を対象に補助を行うものです。

有害鳥獣対策事業

県内の豚熱まん延に係る緊急イノシシ対策事業で、野生イノシシの捕獲強化のために奨励金を増額するも

のです。

石原地内の市道改良事業

県が実施する県道高崎渋川線(石原地内)の歩道整備に伴い、地域住民の安全性および利便性の向上を図るため、接続する市道の拡幅工事を行うものです。



拡幅改良予定の平形眼科南の市道

星名市長の施政方針説明

1期目の市政運営に臨む所信の一端が、市長から説明されました。それに対する議員からの質疑、市長の答弁の一部を紹介します。

「しぶかわ回生、そして前へ」 7つの戦略

- 戦略1 安全・安心なまちづくり
- 戦略2 人口減少対策
- 戦略3 産業・観光振興
- 戦略4 子育て・教育の充実
- 戦略5 健康・医療・福祉政策
- 戦略6 環境保全と都市づくり
- 戦略7 計画的で健全な行財政運営

「しぶかわ回生、そして前へ」をスローガンに、上記の7つの戦略を掲げました。これらは市民生活の基盤を支える幅広い分野にわたります。本格的な人口減少・少子高齢化により社会経済環境が劇的に変わる中、限られた財源を有効に使い、未来を見据えた持続可能な渋川市を創る決意が語られました。

説明と質疑の中で、「現場を重視し、市民の声に耳を傾け、議会と議論・協力し課題を解決する」という姿勢が繰り返し示されました。今後は具体的な施策を一つ一つ積み重ね、市民が安心と希望を持てる渋川の実現に向けた取り組みが期待されます。

質疑 「政治の原点は現場にある」とは、どのような問題点を認識しているか。

市長 選挙期間中に市内をまわる中で、店舗の閉店や交通網の本数の減少など、現場に行かなければ分からないことがたくさんありました。また、議員からの現場の声もこれからしっかりと聞き市政を進めていきます。

質疑 周産期・小児救急医療体制の確保の方向性は。

市長 県や関係機関と連携し、誰もが健康で安心して産み育てられる方向性を示していきたいと考えます。

質疑 子どもの教育環境の整備についての考えは。

市長 保育園や小中学校の適正配置・適正規模化や中高一貫校、小中連携の検討を含め、教育委員会や地域の人たちの意見も聞きながら、再編統合を進める上でさまざまな検討をします。

質疑 農業の担い手不足が深刻な中、国や県が担い手育成・確保に積極的に取り組んでいるが、定年退職後に農業に従事する方は支援

の対象にならない。農業へ参画する65歳以上の方に対する支援の考えは。

市長 市の組織機構を見て、農業支援が薄いと感じました。元気な方も多い65歳以上の方への支援も含め、農業支援策を検討します。

質疑 持続可能なまちづくりのための集約型の都市構造への変換とは。

市長 集約型には、中央への集約と、拠点ごとの集約の2種類があると考えます。集約化を進める必要性は感じていますが、どういう形で集約していくかは、慎重に議論する必要があります。

質疑 前市長は事業実施に当たり、議会には結果報告のみで、議会と議論する場がかなり少なかった。市政に関する議会への説明・情報提供が、行政と議会の正常な関係構築につながると考えるが、市長の見解は。

市長 市民にも議会にも、いいことも悪いこともありのまま伝え、議論を重ねて理解を得る市政運営を目指します。

令和6年度決算

一般会計は賛成者なしで不認定

古巻公民館整備事業

6億7887万円

事業内容
・古巻公民館建設工事
・東側駐車場用地の取得



物価高騰対策 生活支援事業

9億4225万円

事業内容
低所得者支援給付、定額減税補助給付、
住民税非課税世帯給付を実施するもの

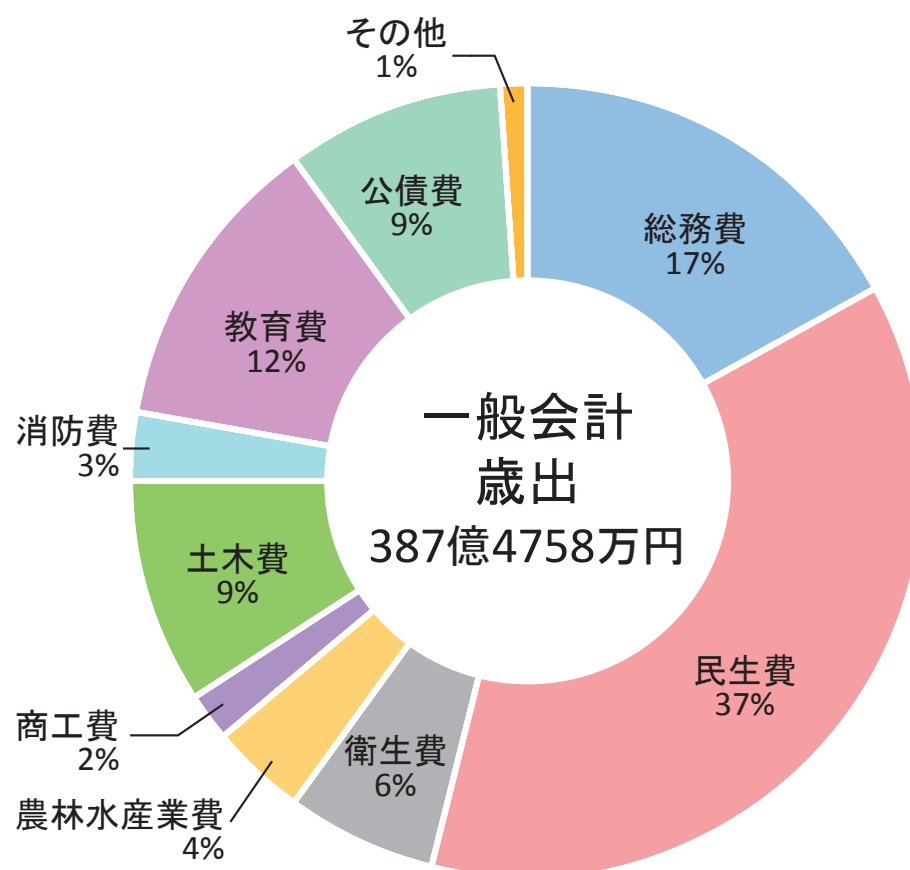
教育・保育給付事業

18億1482万円

事業内容
民間教育・保育施設が教育・保育に要し
た費用(委託料、施設型給付費)を負担



		歳入	歳出
一般会計		411億2854万8320円	387億4757万4666円
特別会計	国民健康保険	86億4908万1782円	86億1837万3058円
	後期高齢者医療	13億8055万3713円	13億7464万9107円
	介護保険	94億0311万1986円	91億6196万0359円
	農産物直売事業	128万3645円	128万3645円
	伊香保温泉観光施設事業	2億2341万0338円	1億5295万4169円
	小野上温泉事業	770万3000円	629万6775円
企業会計	交流促進センター事業	787万8216円	787万8216円
	水道事業	収益的収入・支出	19億5687万3653円
		資本的収入・支出	3億2250万4905円
	下水道事業等	収益的収入・支出	25億1768万9399円
		資本的収入・支出	18億2964万3622円



一般会計 特別会計 企業会計
**387億円 + 193億円 + 77億円
 = 657億円はどのように使われたか？**

決算審査の様子は6ページで
詳しく紹介します

令和6年度一般会計予算について

令和6年度一般会計の当初予算案は、令和6年3月定例会において賛成少数で否決されました。

当初予算が否決され場合、3月中に再度議会の招集し、修正した予算案が暫定予算を議会に提出し、議決を得て新年度を迎えなければならないところ、前市長は議会を招集することなく、否決された予算案のまま市長専決処分により予算を成立させました。

専決処分した事案は、その後議会に報告し、承認を求めなければなりませんが、議会を軽視した専決処分に対し、議会は不承認としました。

以上の経緯を踏まえ、令和6年度一般会計予算は議会が認めていない予算であることなどから、決算は賛成者なしで不認定となりました。



ふるさと渋川 応援推進事業

6億6314万円

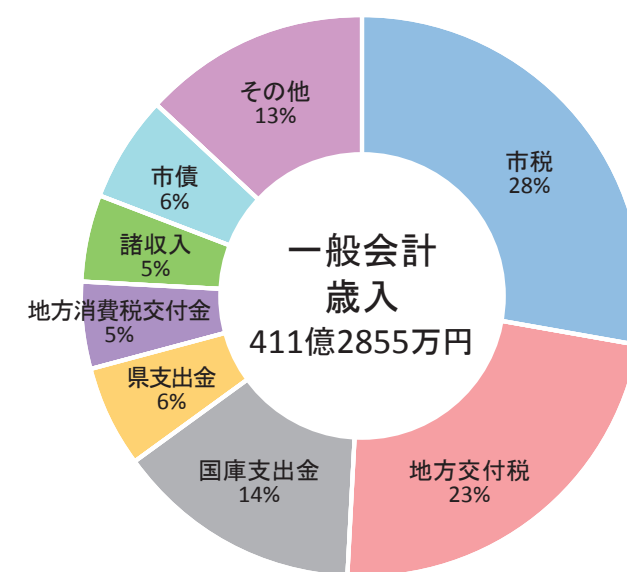
※うち4億3564万円は、前年の寄附額を基金に積み立てるための支出です。

事業内容
・ふるさと応援寄附金の促進、市内特産品等のPR
・ふるさと納税ポータルサイトの管理
・返礼品開発およびプロモーション業務の委託等

自立支援給付事業

21億7026万円

事業内容
介護給付、訓練等給付、計画相談支援給付等の障害福祉サービスの提供



決算特別 委員会の審査



▲議案審査の映像
はこちらから
ご覧ください

審査結果 令和6年度一

般会計決算は多数決により賛成者なしで不認定、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり可決・認定しました。

一般会計

高齢者の補聴器購入費助成

質疑 利用の多い補聴器の

価格帯と補助人数の実績は。

【答弁】 10万円から20万円未

満が37人で、全体では76人

に助成しました。

保育人材の確保対策

質疑 事業の内容と不用額

が生じた理由は。

【答弁】 民間保育施設を対象

に、保育士の負担軽減のため、

保育士資格等を有しない

保育支援者の配置への補

助で、市内全11施設分の予

算に対し、申請が7施設の

みだったためです。

医療的ケア児の支援

質疑 施設の廃止が検討さ

れている第五保育所で行っ

ている医療的ケア児支援は、

施設廃止後どうするのか。

【答弁】 令和11年度までは第

五保育所で続け、その後は

公立施設での支援を考えて

いきます。

じん芥処理事業

質疑 昨年度収集が開始さ

れたプラスチックごみの収

集目標と実績は。

【答弁】 年間630tの目標

に対し実績は324tで、

目標の51・24%です。

企業誘致の促進

質疑 誘致の実績と内訳は。

【答弁】 工場等設置奨励金3

件、新たな販路開拓の経費

支援4件、本社機能移転経

費支援3件で、交付額の合

計は約2458万円です。

アフターコロナ観光未来戦

略推進事業

質疑 事業の内訳は。

【答弁】 地域おこし協力隊委

嘱報酬、伊香保温泉アート

イベント補助、アニメツ

リズムの推進です。

通学バス運行事業

質疑 通学バスの利用条件

を通学距離2・5kmに統一

した条例改正と不用額との

関連は。また、利用者一人

当たりの年間費用は。

【答弁】 業務委託せずに直営

で運行している路線の職員

報酬や車の維持費、実績に

より支払うハイヤー4路線の不用額であり、通学バス条例の改正とは関係ありません。また、一人当たりの平均費用は約27万円です。

特別会計

国民健康保険特別会計

子育て世帯への支援

質疑 18歳(高校生世代)ま

での子どもがいる世帯への、

子どもに係る国民健康保険

税の均等割額相当額の支援

金の支給を1220人と見

込んでいたが、実績は。

【答弁】 支給件数は606件

で、支給人数は1002人

です。なお、不支給の主な

理由は国保税の滞納です。

国民健康保険税

質疑 不納欠損額は、令和

2年度以降減少傾向となっ

ていたが、令和6年度に増

加に転じている。件数と額

について分析しているか。

【答弁】 192件、2782

万3684円の増で、その

うち9割以上は、令和3年

度に滞納処分を執行停止し

たものが令和6年度に不納

欠損になったものです。

国保あかぎ診療所

質疑 休止している診療所

の再開のための医師の確保

が進まないが、用途を変える

検討は進んでいるか。

【答弁】 再開に向けて取り組

んできましたが、医師の確

保は難しい状況です。別用

途での活用について具体的

な検討は行っていないせん。

伊香保温泉観光施設事業特

別会計

伊香保温泉石段の湯使用料

質疑 実際の利用人数と入

湯税の収入が異なる理由は。

また、前年度比の利用減の

うち、内訳を把握している

高齢者と障がい者の人数は

【答弁】 入湯税は子どもには

かからないため、人数の差

が出ています。市内高齢者

が3564人の減、市外含

む障がい者が12人の減です。

伊香保温泉石段の湯			
ご利用料金		利用時間	
大人	800円	大人	500円
小学生	400円	小学生	250円
幼児	200円	幼児	100円

伊香保温泉石段の湯の
料金表

常任委員会の審査



▲議案審査の映像
はこちらから
ご覧ください

各常任委員会では、本会議で最終的な採決を行う前に、議案の詳細な審査を行います。また、常任委員会協議会では市から各事業の報告・説明を受けます。各常任委員会での主な審査内容等をお知らせします。

総務市民

審査結果 付託された2議案はすべて全会一致で可決しました。

損害賠償額を定めることについて

これまで戸籍管理システムは自治体ごとに管理していましたが、全国の自治体で共通のクラウド式の管理システムを導入するに当たり、現在の契約を途中解約することに伴い発生する損害賠償額を定めるものです。

質疑 経費の安いクラウド方式に早期に移行し、解約を早める考えはなかったか。

【答弁】 新システムに関する

国の「標準仕様書」は令和6年2月に示されましたが、全国一斉に移行することが国から示されたことから、本市だけの早期移行は不可能と判断しました。

個人番号の利用及び個人情報提供に関する条例の一部改正

質疑 市が番号を付番し情報管理を行う「住登外者」とは。

【答弁】 市外に転出したが、住所地利権制度により引き続き本市が介護保険の保険者となっている方や、福祉医療費の支給等、市独自の支援を行っている方が該当します。

経済建設

審査結果 付託された2議案はすべて全会一致で可決しました。

**経済建設常任委員会協議会
デマンドバスの拡充と路線
バスの見直しについて**

バス事業者における深刻な運転手不足で、通院や買い物のための地区外への移動手段確保に支障が出かねないことから、「小野上・子持地区デマンドバス」を赤城地区北西部エリアへ、「北橘地区デマンドバス」を赤城地区南東部エリアへ拡大し、市の委託により運行するバス路線を見直すなどの検討が報告されました。

有馬配水池におけるPFAS対策について

有馬配水池の水源となる井戸から国の暫定目標値を



青い仮設送水管の設置が進む有馬配水池

超える数値が検出されているPFASへの恒久的な対策として、行幸田に既存の浄水場よりも処理能力の高い浄水場を新たに整備し、そこから有馬配水池に送水することで、問題の井戸を廃止する案が示されました。

質疑 整備前後の維持費の変化は。

【答弁】 廃止する井戸の電気代がかからなくなることなどから、年間600万円程度の経費削減が見込めます。

教育福祉

審査結果 付託された5議案および請願3件はすべて全会一致で可決・採択しました。

学習用タブレット端末購入

市立小中学校におけるICTを活用した学習の充実をはかるGIGAスクール構想を念頭に、小中学校で使用しているタブレット端末を更新するものです。

質疑 現在保有しているすべての端末が買い換え対象

なのか。

【答弁】 予備として各校に数台ずつ残す予定です。

質疑 タブレット端末を家へ持ち帰る場合、利用時間の増加が想定されるが子どもの健康への影響は。

【答弁】 ICT活用運営委員会等で適切な使用時間、適切な使い方の検討を進めていきます。

古巻公民館建設工事請負契約の変更

解体する既存建物にアスベスト含有建材が使用されていたことにより、契約金額を806万3000円増額し、10億7650万4000円に変更するものです。

質疑 アスベスト含有建材が使用されていた場所は。

【答弁】 外壁の塗装剤と、屋根の一部です。

質疑 アスベストの撤去作業はどのように行うのか。

【答弁】 撤去するアスベストが飛散しないようにすべてシートで覆い、慎重に撤去します。撤去後は、プラスチックの袋に梱包し、適切に搬出します。

予算

(令和7年度補正予算)

審査結果 付託された6議案はすべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第3号)

市道の拡幅工事を実施

石原地内で県が実施する県道高崎渋川線の歩道整備に伴い、接続する市道の拡幅工事を実施するものです。
渋Pay加盟店精算金等の予算を増額

前年度未利用分の確定等に伴い、今後の精算等に必要となる予算の増額です。

質疑

答弁 市内での消費喚起を目的に、市内経済活性化に寄与しています。また決済額の1%を将来世代への投資として積み立て、教育環境の充実等に充てています。

一般会計補正予算(第4号)

農地の災害復旧事業を実施

9月10日・11日の豪雨により小野上地区村上地内の農地の斜面が崩落したため、災害復旧工事に係る測量設計を実施するものです。

論

討

9月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。
討論とは、議案等を議決する前に賛成・反対の意見を述べることをいいます。

「令和6年度一般会計決算」

※賛成討論はありませんでした。

反対

令和6年度当初予算案は議会が否決し、否決の翌日に前市長の専決処分で成立し、この専決処分を議会は不承認とした。

市長専決処分の法的根拠である地方自治法は、平成18年の改正で専決処分の運用がより厳格化されており、総務大臣は、「恣意的な運用は違法」との認識を示している。

前市長は専決処分の理由を「議会を招集する時間的余裕がないこと」と説明したが、否決から新年度までに4開庁日あり、議会の招集は可能だった。本専決処分は地方自治法違反と言わざるを得ない。

反対

議会が否決した令和6年度当初予算案を前市長が修正せずに専決処分で成立させたことは、議会を無視する行為であり、全国でも前代未聞の不名誉な事例になった。

その後議会が不承認としたこの専決処分の道義的責任は重大である。

渋川市の名誉回復、市民を代表する議会の存在意義の確保、市民の信頼回復、そして星名新市長が唱える渋川市の安定のためにも、このような議会無用論とも言える乱暴な手法で成立した当初予算に対する決算を認定することはできない。

議会往来

5月

▽15日 宮城県名取市議会・同県大和町議会が視察来庁(移住・定住の取組)

7月

▽10日 茨城県牛久市議会が視察来庁(らくらく交通サービスGunMaasデマンドバス)

▽25日 愛知県安城市議会が視察来庁(らくらく交通サービスGunMaasの取組)

8月

▽1日 埼玉県鴻巣市議会が視察来庁(ひきこもり居場所づくり事業、孤独・孤立対策推進事業)

10月

▽8日 長崎県大村市議会が視察来庁(ジェンダー平等推進表彰)

▽27日 教育福祉常任委員会が岐阜県岐阜市へ行政視察(学びの多様化学校、

「ぎふMIRAI's」推進事業)

11月

▽4・5日 経済建設常任

渋川市議会は本会議をインターネット中継・録画配信しています。
また、詳しい内容は会議録検索システムをご覧ください。
各委員会は録画配信をご覧ください。
それぞれ、以下の二次元コードからご覧ください。

本会議中継
(議会放映システム)



本会議会議録
(会議録検索システム)



委員会
録画配信
(YouTube)



委員会が静岡県湖西市、静岡県浜松市へ行政視察(水道スマートメーターの活用、エヴァンゲリオン30周年とのコラボ企画)
▽5日 岩手県花巻市議会が視察来庁(自治会の負担軽減に向けた取組)
▽6・7日 総務市民常任委員会が富山県南砺市、石川県小松市へ行政視察(ジェンダーギャップ解消の取組、自主防災組織・能登半島地震の対応)

一般質問

令和7年9月定例会

一般質問 ～13人の議員が 市政を問う～

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

※一般質問のタイトルおよび質問内容は質問者の責任において作成しています。

中澤 功史 議員 P 9

福島 丘泰 議員 P 10

高澤 幹 議員 P 11

須田 勝 議員 P 12

埴田 裕之 議員 P 13

高野 佳美 議員 P 14

望月 昭治 議員 P 15

角田 喜和 議員 P 10

田村なつ江 議員 P 11

山内 崇仁 議員 P 12

後藤 弘一 議員 P 13

田邊 寛治 議員 P 14

加藤 幸子 議員 P 15

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。

人口減少への対応
質問 人口減少に対応するためには「男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の理念に沿った市政運営と民間との協働が必要と考える。市長の考えは、**(市長)** 国の方針を踏まえ、多様性の尊重や価値観の転換、官民協働により、誰もが活躍できる協働のまちづくりを推進していきます。
年齢構成の変化への対応
質問 シニアを含めたファミリー層をターゲットとした「ユニバーサルツーリズム」と「伊香保温泉」を掛け合わせた取り組みをすべき。どのようにこれを推進していくか。
(産業観光部長) 「観光施設心のバリアフリー推進事業」に取り組むことで、シニア層の誘客や共生社会の観光地づくりを推進します。
部活動地域展開の推進
質問 学校部活動の地域展開を進めるに当たり、楽器や防具等の学校備品を地域クラブに無償貸与するなど、生徒・保護者の負担軽減の取り組み状況と今後の見通しは。



中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう



若者も帰ってきやすい・働きやすい・住みやすいまちづくりを推進します

(教育部長) 学校で購入した備品の利活用や管理について検討し、さらに保護者の費用負担の軽減に向けた検討を今後も行います。
質問 学校部活動の地域展開を担う地域クラブが、民間から運営費補助を受ける場合にも、市からの補助から除外されないような制度設計が必要と考える。市の考えは、**(教育長)** 県内や全国の先進事例等について情報収集し、民間の支援や公的支援等の支援の在り方を検討しながら、制度設計について研究をしていきます。



角田 喜和

夏休みの延長・ 体育館にエアコン設置を



質問 2学期が8月26日から始まり、児童は給食を食べ猛暑の中を下校している。県内では8月末まで夏休みの自治体が増えている。渋川市にも夏休み延長を求める。

教育長 近年の猛暑から児童生徒の安全を第一に考え、他市町村の動向や保護者、地域、関係機関の意見も考慮し、昨年度に引き続き夏休み延長の検討を進めます。

質問 小中学校特別教室のエアコン設置は完了した。未設置の体育館は災害発生時には避難所となる。児童生徒の暑さ対策、環境整備にも必要なエアコン設置の計画は。

教育長 必要性は認識しており、具体的な検討を進め可能な限り早い段階で設置できるよう調整したいと考えます。なお、設置までに時間を要すると考え、先行して冷風機等の備品も検討しています。

交通弱者の解消の取り組み

質問 公共交通ネットワークの見直しを進めているが、交通弱者対策はどうなるのか。

建設交通部長 赤城地区から子持



赤城地区に運行エリアが
拡大されたデマンドバス

地区・北橘地区にある商業施設や病院に直接行けるよう、小野上・子持地区および北橘地区の各デマンドバスを赤城地区へエリアを拡大して運行する予定です。

質問 赤城地区へのデマンドバス拡充で既存バス路線はどうなるか。

建設交通部長 赤城地区の既存路線バスのうち、「渋川駅～深山線」をデマンドバスの運行開始に併せて廃止し、「渋川駅～勝保沢線」および「渋川駅～南柏木線」については運行を継続する予定です。



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために



農業振興と農業政策の方針

質問 ICTやロボット技術を活用したスマート農業の取り組みは。

産業観光部長 情報収集を行い、国や県の補助事業の積極的な活用について検討します。

質問 中山間地域等の小規模分散農地とスマート農業技術を生かせるほ場整備の取り組みは。

産業観光部長 農作業効率化のため、ほ場の大区画化が必要と考えます。また、大型農業機械やスマート農業機械の導入を支援します。

質問 農林産物のブランド化と販売力の強化の取り組みは。

産業観光部長 渋川市産農産物の安全性について情報発信を行い、SNSやインターネット等を活用した取り組みを研究します。

質問 今後、力を入れる農業振興策と市独自の支援は。

産業観光部長 就農継続と新規就農者確保に向けた補助事業の見直しなど、市独自事業を研究します。

質問 上信自動車道渋川西バイパス開通後の道の駅への影響は。



スマート農業技術の生かせるほ場整備推進と上信道開通後の影響が心配される道の駅

産業観光部長 来場者と売り上げの減少が考えられますが、地域農業の維持や活性化の役割も含め、今後の方針を検討しています。

質問 上信自動車道の開通で、渋川市が通過地点になる恐れがある沿線に利用者が立ち寄り、地域経済活性化につながる、農業と観光を結び付けた拠点整備の考えは。

市長 交流人口の拡大などにも寄与するものと考えていますので、開通後の人や交通の流れなどを注視し、研究を進めていきます。

※紙おむつのサブスク：使用枚数にかかわらず月額料金など定額を支払い、サービスを利用するもの。
サブスクを運営する会社から保育施設に直接紙おむつが納入され、保護者が紙おむつ持参する負担や、保育園で園児ごとに紙おむつを管理する負担などの軽減が期待されます。

一般質問



田村なつ江

よりよい市政の実現を



新市長の意気込みを

質問 選挙戦を振り返って、あらためて感じる市の課題は。

市長 市と議会とが互いを尊重し、政策的な議論を交わす良好な関係性を回復し、総合計画を基本とした体系的な政策運営に見直します。

質問 市長が持つ国や県との太いパイプをどう生かしていくのか。

市長 市民の声を聞き、必要とする政策へ結びつける枠組みを整え、国や県と緊密に連携し、市の実情に合った施策の推進を図ります。

事務事業評価と事業レビュー

質問 事業レビューを実施しているが成果が上がっていないと感じる。市長の見解と今後の展開は。

市長 これまでの取り組みについてしっかりと検証し、より効果的、効率的なものとなるよう、検討を進めていきます。

職員の離職について

質問 定年退職以外で退職した職員の状況は。

総務部長 普通退職者数は、令和2年度から令和6年度までの間で



水道管の老朽化による漏水

9人、16人、8人、15人、8人で、単純な増減傾向は見られません。
質問 60歳以降の職員の働き方は。
総務部長 60歳になった際に、引き続きフルタイムで働くか、いったん退職して短時間勤務にするかを選択できる制度になっています。

水道管の老朽化

質問 漏水により失われた水量と、それを水道料金に換算した金額は。

上下水道局長 令和6年度では、全体の24・7%に当たる317万4423m³が無効な水量となり、約4900万円に該当します。



高澤 幹

住む人すべてのしあわせを 育むまち渋川市



教育支援

質問 小中学校の適正配置へ向けた検討委員会の開催状況は。

教育部長 令和6年度は庁内検討委員会4回とワーキング16回、今年度は外部検討委員会2回と庁内検討委員会3回を開催しています。

質問 適正配置に関する地域や保護者からの意見公募やワークショップは今年度中に開催できるのか。

教育部長 まずは、基本方針案の段階で、おおむね12月頃の予定で、市民意見公募を実施します。

質問 アレルギー対応で学校給食を食べずに弁当を持参している家庭への経済的配慮を行う検討は。

教育部長 持病のほか保護者方針ということもあるので、県内他市の状況等を調査し、補助制度について研究していきたいと考えます。

しぶかわ涼みどころ

質問 涼みどころの目的や内容は。

市民環境部長 涼みどころは市が独自に策定した地球温暖化対策に係る熱中症対策方針に基づき設置している暑熱避難施設で、民間施



子どもが生き生きと育つ
小中学校の適正配置を

設も含め33施設を指定しています。
質問 快適な空間が確保されているかの確認方法は。
市民環境部長 民間施設については、設置場所を記載した平面図を提出いただき、事業者立ち会いのもと現地確認をしています。
紙おむつのサブスク
質問 市内保育施設で紙おむつのサブスクを導入する検討は。
育都推進部長 紙おむつのサブスクは保護者等の負担を軽減する取り組みですが、研究すべき課題もあるので、引き続き検討します。



山内 崇仁

渋川市の魅力を発信



eスポーツについて

質問 シニア向けのeスポーツを今後も継続していくのか。

福祉部長 eスポーツが健康づくりへの取り組みや社会参加等につながることから、その活用も含め楽しみながら取り組める事業となるよう工夫を重ねていきます。

質問 交流人口の増加や世代間交流を促進するため、eスポーツなどデジタルアクティビティを取り入れたまちづくりを進める考えは。

総合戦略部長 デジタルアクティビティには、多世代交流など幅広い効果が期待できることから、地域活動や観光などと連動した仕組みづくりを検討していきます。

産業・観光振興への取り組み

質問 渋川総合公園から水澤寺の区間に歩道を整備する計画は。

建設交通部長 県へ確認したところ、通学路の歩道整備を優先する方針とのことですが、この区間における整備も重要ですので、今後とも市から要望していきます。

質問 伊香保温泉から水沢方面へ



eスポーツを楽しむ高齢者

運行しているタウンバスを榛東村、吉岡町と協働で延伸し、広域的な観光振興を広げる考えはあるか。

建設交通部長 榛東村と吉岡町との広域的な地域振興につながる公共交通網の整備について、両町村や交通事業者、観光施設と連携を図りながら検討を進めていきます。

質問 総合公園周辺に親子が集える「道の駅」を設置してはどうか。

総合戦略部長 自然環境や観光資源を生かし、民間主導での整備や運営を前提に、事業提案の実現性を慎重に検討していきます。

を慎重に検討していきます。



須田 勝

新市長に聞く「回生」とは

星名市長の7つの戦略

戦略1 安全安心なまちづくり

質問 「交通弱者や買い物難民の解消」として、店舗の誘致のほか、移動販売業者の販売エリア拡大のための補助を行う考えは。

市長 行政とスーパーやコンビニなどを併せた複合施設の事例を参考に、宅配や移動販売業者とも連携した買い物支援を検討します。

質問 「身近な生活道路の維持・改善」について、赤城地区は維持管理が特に不足。改善の計画は。

建設交通部長 危険度や緊急度が高く、日常生活に与える影響の大きいところから優先して実施していきます。

質問 市庁舎は耐震性がなく、雨漏りするなど老朽化が進んでいる。新庁舎建設を進める考えは。

総務部長 新庁舎の位置、規模、整備手法、整備スケジュール等を具体化する新庁舎整備計画の策定を進めていきたいと考えています。

戦略2 人口減少対策

質問 「移住・定住しやすい環境

の創出」とは。

市長 安全・安心な生活環境の確保や持続可能なままとりのあるまちづくり等を目指し、それらを実にPRすることで、移住・定住しやすい環境を創出していきます。

質問 人口を維持し、増やす対策として、結婚対策課の組織を立ち上げる考えは。

育都推進部長 現段階では結婚に係る組織をつくる考えはありません。引き続き子ども政策課で結婚に係る事業の支援を行います。



星名新市長に期待！！



一般質問



後藤 弘一

学校現場の今



猛暑・酷暑による学校生活の変容

質問 授業時間の創意工夫は。

教育部長 児童生徒の安全を第一

に考え、エアコンと扇風機の併用や、各階でエアコンの使用開始時刻をずらす工夫もしています。

質問 体育館の空調設備の設置は。

市長 学校体育館は避難所にもなるため早急に検討していかなければならず、優先すべきところから整備を進めていきたいと考えます。

教育長 可能な限り早い段階で進めるよう調整をしており、避難所

としては空調設備のある特別教室での一時避難を検討しています。

児童生徒の夏休みの過ごし方

質問 課題の与え方の傾向は。

教育部長 おおむね一学期の復習、読書感想文や作文、ポスター、書道等を課題としています。課題の量についても児童生徒の負担にならないよう調整しています。

質問 夏休み期間の延長は。

教育長 近年の猛暑の影響から、児童生徒の安全を第一に考え、関係機関とも個別に連絡調整を図り、



猛暑対策
教室・特別教室にエアコン設置

具体的に検討を進めています。

全国学力・学習状況調査

質問 市の正答率と学習状況の顕著な例は。

教育部長 小6国算理と中3国数

は県平均並みです。中3理科は県、全国を大きく超え、理科の勉強が好きと肯定する回答率が高いです。

質問 IRT(項目反応理論)スコアとは。

教育部長 年度によって問題が異なっても共通の尺度で学力の経年変化を比較でき、学力状況を正確に把握できるものです。



埴田 裕之

『安定した市政』実現のための の共存共栄(オール渋川)



施政方針について

質問 星名市長だからできることは。また、渋川市の課題をどうと

らえ、その解決策をどう考えるか。

市長 まずは市議会と良好な関係を構築し、総合計画を基本とした

体系的な行政運営を進めていきます。また、公共施設の再編や生涯活躍のまちづくりなど、さまざまな課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいきます。

子持行政センター周辺整備事業

質問 令和3年に完了予定だった

公民館増築工事は、多額の費用を投じ道路水道整備、周辺建物解体設計等を実施したが凍結されている。当初の設計どおり進めるのか。

市長 設計から5年経過し、社会

情勢は大きく変化しており、当初設計のまま進めるか否かの決定は、現時点では行っていない。真に必要なもの、不足しているものを整備していきたいと考えています。

北橋中学校体育館の雨漏り対応

質問 抜本的な対応が必要と考え



撤去が進まぬ危険な電柱(子持行政センター)
雨漏り現地調査(北橋中学校体育館)

農業従事者への思いやり
質問 農家の皆さんは、農薬散布等の際に地域住民へ多大なる気遣いをしている。農作業への理解と協力を行政から地域住民へ求めることも必要と考えるが見解は。

産業観光部長 地域住民には、広

報等を通じて消毒時期等の周知を行い、農作業へのご理解ご協力をお願いしていきたいと考えます。



田邊 寛治

渋川市の行方

問題解決と展望



前市長が残した課題の解決

質問 前市長による個人情報情報の漏えいなど、内部統制の緩みが見受けられるが、どう対策していくか。

市長 コンプライアンスは行政執行における根幹です。法令遵守、倫理、透明性を基本とし、信頼される行政を目指します。

質問 議会と行政の関係の正常化に向けた考えは。

市長 行政と議会の皆さんと議論をしていく中で、胸襟を開いて話します。市民のために、渋川のために全力を尽くします。

質問 渋川市内に埋設された鉄鋼スラグの処分は今後どう進めるか。

市長 対応方針と基本協定書に基づき、工事ごとに協議を行い、個別契約書を締結し、引き続き対策を進めていきます。

星名市政の展望

質問 移住定住の促進はスピード感と危機感が必要と考えるが。

市長 最大限の努力をして最大限のスピード感を持って、議会の皆さんにも力を借りて、市民も行政



急がれる新庁舎の建設

もオール渋川で進めていきます。

質問 桐生市や沼田市などは合併特例債を活用して市役所庁舎を整備した。渋川市における新庁舎建設の道筋は。

市長 今後、新庁舎の位置、規模、整備手法、整備スケジュール等を具体化する新庁舎整備計画の策定を進めていきたいと考えています。

質問 選挙戦の中で市長が掲げた中高一貫校の理念や位置づけは。

市長 中高一貫校を契機に大学誘致まで持っていき、渋川での起業、就労につなげたいと考えます。



高野 佳美

移住促進策と財源確保



移住・定住促進策

質問 群馬県が「移住希望地ランキング」全国1位になったことを受け、他市との差別化を図り、施策を強化すべきと考えるが。

市民環境部長 移住・定住先として選んでもらえるまちを目指して、支援策を継続して実施し、市の魅力である子育てしやすい環境などの情報発信を強化していきます。

宿泊税導入と財源確保

質問 観光振興の新たな財源として他自治体で導入が進む宿泊税を、仮に本市で導入した場合の試算は。

産業観光部長 年間宿泊者約97万人と仮定し、一律定額法200円で試算すると約1億9000万円、定率法での試算では、宿泊料1万8000円の2%とし試算すると約3億5000万円となります。

質問 導入先進地における宿泊税の使途は。

産業観光部長 導入自治体の使途は、導入自治体の観光課題の解決に活用されています。その使途について広く公開しています。

質問 導入先進地の中で、税収の一部を基金として積み立て、中長期的な事業にも対応できる仕組みを取り入れている自治体がある。本市でもこの仕組みを使い、空き旅館対策などの景観保全やユニバーサルデザイン等に活用すべきと考えるが、これらを踏まえ、宿泊税導入に対する市長の見解は。

市長 観光産業は重要な産業であり、宿泊税導入は、財源確保として検討の課題とする必要があると考えます。市内観光の課題検証を行い、導入の研究を進めます。



伊香保再生への道

一般質問



加藤 幸子

新市長に問う



質問 有馬配水池で高い数値が検出されているPFASへの対応について抜本対策と緊急対策を聞く。

上下水道局長 抜本対策については、複数の案を比較検討した結果、新行幸田浄水場を建設する案で進めたいと考えています。緊急対策の仮設配管については、早期に通水ができるよう進めています。

市長 国が定めている目標値は、安全を十分に考慮した基準であると認識しています。市では、恒久対策を進めており、市民の命を第一に取り組みます。

質問 市は育都宣言をし、子育て支援に力を注いできたが、新市長は継続していくのか。

市長 子育て世代の経済的負担軽減を目的に平成29年から実施中の小中学校給食費の完全無償化は、今後も重要な柱として継続します。

質問 市は「核兵器廃絶都市宣言」をし、市民の平和を守ってきたが、市長の今後のさらなる取り組みは。

市長 恒久平和を強く希求し、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に



水道水PFAS汚染改善対策として急ピッチで進む仮設工事中の管路

伝承していくため、次世代を担う子どもたちに向け平和活動の取り組みを推進していきます。

質問 日本の男女平等の現状は、女性の政治参画や管理職比率、所得格差等でG7諸国のうち最下位。学校での男女平等の取り組みは。

教育長 子どもを指導する教職員の人権教育への十分な理解を深めるために研修会を実施しています。

学校では道徳や教科指導、男女混合名簿の使用や中学校の制服選択制の導入等を通して男女平等について取り組みを進めています。



望月 昭治

渋川市の安全・

安心について



安全安心な道路の管理

質問 赤城町栄と北橋町赤城山地内の道路への産業廃棄物の不法投棄等をどう解決するか。

建設交通部長 県と警察に協力を仰ぎ、状況改善に努めます。なお、警察には不法投棄についての被害届の提出も検討しています。

市長 この場所は容認できない状態です。進展が図られなければ自ら県や警察に掛け合い、事態解決の一助になればと考えています。

質問 北橋町赤城山地内のかげ街道五差路は見通しが悪く大変危険。隣接の市有地の草でさらに見通しが悪くなる。市の管理は。

総務部長 定期的な除草作業を実施し視界の確保と安全性の向上に努めており、今後も現地の状況を注視し、必要な対応を継続します。

中村・半田地区の水害対策

質問 関越自動車道の高架下、利根川護岸をかさ上げする検討は。

建設交通部長 県が坂東橋から上流部の設計に着手したことから、市からも早期に整備が進むよう県

へ強く申し入れをします。

適切な農地の管理

質問 農地の一時転用期間後も、農地に戻さない場合の対応は。

農業委員会事務局長 許可条件として期間内の農地復元を求めています。期間を過ぎても復元されない場合は、個別指導を行います。

質問 一時転用期間が過ぎた農地は、期限を定めた指導が必要では。

農業委員会事務局長 優良農地の確保と農地の効率的な利用等を基本と考え、農地法に基づいて厳格な対応で取り組みます。



県による堤防のかさ上げ整備が予定される利根川の坂東橋上流部

令和7年9月定例会の審議結果

条例の改正・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

令和7年度補正予算・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第3号・第4号)
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算(第1号)
- 渋川市小野上温泉事業特別会計補正予算(第1号)

人 事・・・・・・・・・・ 同 意

- 人権擁護委員候補者の推薦について

人 事・・・・・・・・・・ 選 挙

- 烏帽子山植林組合議会議員の選挙

令和6年度決算・・・・・・・・ 不 認 定

- 渋川市一般会計歳入歳出決算について

令和6年度決算・・・・・・・・ 認 定

- 渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について
- 渋川市下水道事業等会計決算について

令和6年度決算・・・・・・・・ 原案可決・認定

- 渋川市水道事業会計剰余金の処分及び決算について

請 願・・・・・・・・・・ 採 択

- 義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について
- ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について
- 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願について

意 見 書・・・・・・・・・・ 原案可決

- 義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- 少人数学級及び教職員定数の改善に係る意見書
- 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

そ の 他・・・・・・・・・・ 原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 財産の取得について
- 損害賠償の額を定めることについて
- 渋川市古巻公民館建設工事(建築主体工事)請負契約の変更について

令和7年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25	26	27	28	29
勤労感謝の日	振替休日				本会議 (開会・議案 上程) LIVE▶	
30	12/1	2	3	4	5	6
	本会議 (議案上程) LIVE▶	一般質問 LIVE▶	一般質問 LIVE▶	一般質問 LIVE▶	常任委員会 (総務市民 経済建設)	
7	8	9	10	11	12	13
	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)	休会	本会議 (表決・閉会) LIVE▶		

- LIVE▶ … インターネット中継あり
- 本会議は午前10時から開会します。
- 日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。



環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。

議会報編集委員会

委員長 中澤 功史
副委員長 堀田 裕之
委員 高野 佳美
委員 福島 丘泰
委員 後藤 弘一
委員 山内 崇仁
委員 角田 喜和
委員 板倉 正和

新市長の新たなスタートが切られました。行政と議会は、渋川市の未来を見据え、互いに車の両輪のように均衡を保ちながら、政策議論を交わし安定した市政を目指してまいります。前号でご協力をいただいた読者アンケートでは、特に一般質問のページからそれぞれの議員が取り組んでいる様子を知らず知らずのうちに手掛かりにしているとの声をいただきました。今後、ぜひご意見ご感想をお寄せください。(編集委員 板倉 正和)

編集後記